



TRIP—旅・外出・軽快な足どり・つまずき・失言・幻覚症状…

TRIPして
私はいつも間違えてしまう。

ウラナチプロデュース
TRIP

2011 11.25 fri ▶ 11.27 sun

〔会場〕藝術中心●カナリヤ条約／ク・ビレ邸

<http://shoosen-kwan.com/>

「藝術中心●カナリヤ条約」オープニング・フェスティバル参加公演

ウラナチプロデュース TRIP

<特別公演>

岩下徹 × 松島誠『Silent Night』

ロウソクの灯りだけの心地よく、そして過酷な空間
即興ダンスの可能性を追求する二人によるソロ&セッション公演

1：松島誠ソロ 2：岩下徹ソロ 3：岩下徹 × 松島誠セッション

11月25日(金)19時30分開演（開場は開演の30分前）

終演後、ク・ビレ邸にて交流会を開きます。

公演会場 藝術中心●カナリヤ条約

受付場所 ク・ビレ邸（18時30分から受付開始）

※公演会場と受付場所は異なりますので、ご注意ください。

料金 前売2500円、当日3000円（特別公演+本公演のセット券3800円〔前売のみ〕）

<本公演>

松島誠 『ハネジイ '11 (duo ver.)』

ウラナチ 『電人Bさんの完全犯罪』

11月26日(土)19時開演（開場は開演の30分前）

11月27日(日)13時開演／17時開演

26日の公演後、ク・ビレ邸にて交流会を開きます。

公演会場 藝術中心●カナリヤ条約

受付場所 ク・ビレ邸（各上演日時の1時間前から受付開始）

※公演会場と受付場所は異なりますので、ご注意ください。

料金 前売2500円、当日3000円（特別公演+本公演のセット券3800円〔前売のみ〕）

〔チケット予約〕

◆ ウェブ予約 「ウラナチ」で検索→[ウラナチ TOP]→[予約フォーム]
鞆鞆館 <http://shoosen-kwan.com/>

◆ ウラナチ tel：090-6130-4168

◆ ク・ビレ邸 tel：06-7492-7504（18:00～23:00）

※当日受付でのご精算になります。

〔アクセス〕

大阪市営地下鉄四つ橋線「北加賀屋」4番出口より

4番出口左側の道を北へ20M→3つ目の角を左折（西へ）→ひとつ目の右角

ク・ビレ邸：大阪市住之江区北加賀屋2丁目8番8号



ウラナチ「100000羽の鳥」(2009)より

公演会場は「藝術中心●カナリヤ条約」です。

表現者よ、次代のカナリヤたれ!

かつて炭坑夫たちは、坑内で有毒ガスが発生しているかどうかをいち早く察知する手段として、カナリヤを持ち込んでいました。カナリヤは空気の変化に敏感な鳥で、坑内の空気に少しでも有毒ガスが含まれていると、たやすく死んでしまう。つまり炭坑夫たちはカナリヤの死をもって、自らの危険を回避することができたそうです。

このことから近代では、芸術家や表現者をカナリヤにたとえて、彼らの鋭敏な感性が作品を通して、時代の潮流の変化を告知しているとされてきました。また「歌を忘れたカナリヤ」という詩があります。明治時代以降、脱亜入欧のもと欧米文化に傾倒してきた日本は、現代においても、「自分の歌=日本流」を忘れているように思えます。歌を忘れたカナリヤであることをあきらめて、欧米の象徴たる雄々しき鷹とか鷲になろう、というのはもったおかしな話。むしろ、カナリヤならばカナリヤであることを知ったうえで、かつカナリヤとしての多様な歌を唄い出すべきではないでしょうか。

「カナリヤ条約」は、あらゆるジャンルの表現者が次代の美妙的な変化を鋭敏にとらえ、新しい日本流の文化や芸術を発信していくアトスペースです。

企画／制作 ウラナチ

協力 鞆鞆館／劇団ブリキの骸骨／直立演人／DJ MEMENTO

小林凡輝子／横浦玲子／佐々木広夢／岸本明子

〔会場周辺地図〕



① まず、「ク・ビレ邸」にお越しください！

※特別公演・本公演とも、
受付はインフォメーション・センター「ク・ビレ邸」で行います。
各回開演の1時間前から受付を開始します。
北加賀屋駅4番出口からク・ビレ邸まで徒歩約1分。
ク・ビレ邸から公演会場のカナリヤ条約まで徒歩約5分です。
開演直前は混雑する場合がありますので、早めのご来場をお勧めします。
ク・ビレ邸では美術家による展示も行っております（観覧無料）。
開演前・終演後にぜひご覧ください。

<展示>

11月25日(金)18時～22時

11月26日(土)18時～22時

11月27日(日)12時～20時

出展者 永田恵理／セラツヨシ／ウラナチ

会場 ク・ビレ邸 観覧無料

フライヤー絵画

フライヤー／ウェブデザイン

永田恵理

山崎民子

特別公演

Silent Night

岩下徹 × 松島誠

ロウソクの灯りだけの心地よく、そして過酷な空間
即興ダンスの可能性を追求する二人によるソロ&セッション公演



撮影 池上直哉



岩下徹

舞踊家。国際的な舞踏集団<山海塾>舞踏手。ソロ活動では<交感 (コミュニケーション)>としての即興ダンス>の可能性を追求。1957 年東京生まれ。82～ 85 年石井満隆ダンスワークショップで即興を学び、83 年ソロ活動開始。かつて精神的危機から自分のからだを再確認することで立ち直ったという経験を原点とするソロダンスは、等身大のからだひとつで立つことから始まり、場との交感から生まれる即興として踊られる。1989 年より滋賀県・湖南病院（精神科）で看護スタッフと共に「ダンスセラピーの試み」を継続中。日本ダンスセラピー協会顧問。京都造形芸術大学客員教授。桜美林大学非常勤講師。

松島誠

1964 年静岡県沼津市に生まれる。野山を駆け巡る、寂しがりやで孤独が好きな少年期。上京し現代美術と内燃機関の探求に明け暮れた学生時代。大学在学中からパパ・タラフマラに参加。パフォーマー・舞台美術家として23 年在籍。現在フリーのパフォーマー、演出家。2005～ 2008 年杉野服飾大学先端ファッション表現科講師。2008、2010 年韓国国立総合芸術大学舞踊学科客員教授。自転車技師・整備士でもある。

11月25日(金)19時30分開演 (開場は開演の 30 分前)

会場 藝術中心●カナリヤ条約 終演後、ク・ビレ邸にて交流会を開きます。

料金 前売2500円、当日3000円 (特別公演+本公演のセット券3800円〔前売のみ〕)

ハネジイ '11 (duo ver.)

松島誠

ガルシア・マルケスの「大きな翼を持ったひどく年老いた男」と今はなき新宿サクラヤ TV 売り場のモニター前を歩くある老人に触発された作品。わたしたちに翼は必要か？
2006 年台北クーリンチュ劇場初演。
2011 年、オリジナルのトリオ作品からデュエット作品へモディファイ。

振付／出演 松島誠 出演 橋本礼 音楽 菅谷昌弘



橋本礼

福島県いわき市出身。大学在学中より踊り始め、自作品を発表。2005 年より「パパ・タラフマラ」へ入団し、国内外の公演に参加。2009 年よりダンスパフォーマンスグループ「ハボネズ」立ち上げ活動中。「ハネジイ」には、初演より参加。

tongaton meeting

音楽を中心に色々な人や場所、文化との交流をゆるりと楽しんでいる不特定人数のグループ。持ち寄る楽器は弦楽器や打楽器、電子楽器に手作り楽器、はたまたノコギリなど多種多様。
今回の参加は O(オー)、okada hirokata の二人。
我が心のトンガトン (blog)
<http://tongaton.blog116.fc2.com/>



廣瀬良二

2002 役者として舞台活動を始める
2004 舞台照明のデザインを始める
2006 昆虫氏演出の舞台に
パフォーマーとして参加
ウラナチの舞台に関わり始める
現在 関西小劇場を中心に芝居・ダンス・コントの舞台など各公演の舞台照明を担当



永田恵理

兵庫県生まれ。京都嵯峨芸術大学芸術学部観光デザイン学科卒業。主にペンとカラーインク・固形水彩などを交えた混合作品を制作。最近ではモデリングペーストとカラーインクを使った作品が多い。動物と日常周りにある物の組み合わせのイラスト作品・日常の経験した出来事、喫茶店などでみたものや人を交えたエッセイ作品。Twitter:eric7474
<http://knifork-eric.jimdo.com/>



山崎民子

1977 年 京都生まれ。大阪市在住。
1997 年 演劇に出会い、2007 年までパフォーマー、制作&裏方として多様な作品に参加。以後はデザイナーとしてフライヤー、Web サイト制作等を担当。
2006 年～現在 株式会社ブラソルにて Web デザイナー／ディレクター。

電人 B さんの完全犯罪

ウラナチ

その罪はどこから来たのか
そもそもそれは本当に罪なのだろうか
わたしはいつも間違える
でも有罪判決を受けるのはいつもわたし以外の他人
わたしの罪は罪であると認識されないがゆえに完全犯罪となる

演出／美術／出演 岸昆虫 音楽／出演 tongaton meeting／かつふじたまこ
照明／出演 廣瀬良二 出演 ヨロコブル (宮田圭洋／豊田智子)
美術 吉川誠司 (TOOP design works)



ヨロコブル (宮田圭洋／豊田智子)

宮田圭洋：役者／詩人。1979 年、石川県生まれ。
2007 年、劇団パンと魚の奇跡を旗揚げ。全ての世代に向けたファンタスティックな演劇をおもてなしの心で創作している。

豊田智子：役者。2003 年から 2007 年までウラナチの全作品に参加。その後、フリーで活動。コメディ作品や身体パフォーマンスなど、さまざまな舞台に出演する。幅広く演じ分けられる役者を目指す。最近の関心事は、日本語、将棋、手話。



かつふじたまこ

日常や非日常で、聞こえたり聞こえなかったりした音に耳を澄ませ、拾い集め紡ぎ出す。そうして作られた音作品は、日常のとなりのちょっとへんてこな世界を表現する。今回は、ピアノや、楽器じゃないいろんなものを携えて、ウラナチに初挑戦！どんな音が出てくるかしら？
http://www.geocities.jp/hello_tsukineco/

吉川誠司

TOOP design works 代表。家具、雑貨等プロダクトのデザイン・製作から、空間デザイン・アートまであらゆるものづくりに取り組む。2005 年から大阪港区にある廃ビル加藤汽船にて工房を持ち活動を始め、2010 年 12 月に大阪市立売堀にインテリアと雑貨のお店 "Nonius" をオープン。現在は 7 人のスタッフで、アートイベントや展覧会等への出展も行う。



セラツヨシ

1974 年生まれ。島根出身。2000 年にシドニーから東京に活動の拠点を移し、現代アートの分野にて制作を続ける。過去に岸昆虫のプロデュース公演に作品を多数提供。『花粉戦争』(1998)、『トランスアンデス〜破綻した無謀な』(2003)、『禿の女歌手』(2004) 等のフライヤーを手掛ける。



岸昆虫

身体による絵画制作集団ウラナチ主宰。演劇・ダンス・美術・文学を横断し、偏執的に摂収・調査・配置する狂科学芸術家。ブログ岸昆虫記で、エッセイ・評論・活動記録を執筆中。文章表現と舞台表現が相互に依存し高め合う関係を作り出している。40 本以上の演出作品がある。代表作『Kalembour』(2006)、『PLANETS』(2007)、『100000 羽の鳥』(2009)



本公演 11月26日(土)19時開演 11月27日(日)13時開演／17時開演

会場 藝術中心●カナリヤ条約 26日の公演後、ク・ビレ邸にて交流会を開きます。 料金 前売2500円、当日3000円 (特別公演+本公演のセット券3800円〔前売のみ〕)